

## GII 2018: 中国が上位 20 位にランクイン

### 上位ランキング: スイス、オランダ、スウェーデン、イギリス、シンガポール、アメリカ

WIPO、コーネル大学、INSEAD および 2018 年 GII ナレッジパートナーズ、インド産業連合、PwC's Strategy&およびブラジル全国工業連盟、ブラジル零細・小企業支援サービス公社による共同出版です。

ニューヨーク、2018 年 7 月 10 日 - コーネル大学、INSEAD、世界知的所有権機関 (WIPO : World Intellectual Property Organization) が毎年発表しているグローバル・イノベーション・インデックス (GII) ランキングにて、中国が世界で最も革新的な経済圏の上位 20 位にランクインしました。その一方で、スイスは 1 位の座を保持しています。GII2018 の上位 10 位は以下の通りです。:オランダ、スウェーデン、イギリス、シンガポール、アメリカ合衆国、フィンランド、デンマーク、ドイツ、アイルランド。

今回発表された GII 第 11 版は、世界的な意思決定者たちが経済および人間開発を促進する革新的な活動を活性化する方法をよりよく理解する際に役立つ、詳細にわたる定量化手段となっています。GII は知的所有権の出願率からモバイルアプリの開発、教育支出、科学技術関連の出版物に至る 80 個の指標に基づき 126 か国をランキングしたものです。

今年中国が 17 位にランクインしたことは、研究開発を重視した獨創性を優先させる政府の政策のもと急速な転換を遂げた経済を目の当たりにするという画期的な出来事でした。アメリカ合衆国は GII2018 では 6 位に後退しましたが、依然として世界有数のハイテク企業および生活に大きな影響を与える技術革新を数多く創出してきた技術革新大国です。

「中国の急速な発展は、技術革新における世界規模の能力の開発、そして、競争上の優位性を維持するために技術革新を重視する知識集約型産業への経済の構造的基盤の移行という首脳陣が設定した戦略的方向性を反映しています。」と、WIPO のフランシス・ガリ事務局長は述べています。「これは多極的な技術革新時代の到来を告げています。」

### 世界ランキング

1	スイス (2017 年第 1 位)	11	イスラエル (同第 17 位)
2	オランダ (同第 3 位)	12	韓国 (同第 11 位)
3	スウェーデン (同第 2 位)	13	日本 (同第 14 位)
4	イギリス (同第 5 位)	14	香港 (中国) (同第 16 位)
5	シンガポール (同第 7 位)	15	ルクセンブルク (同第 12 位)
6	アメリカ合衆国 (同第 4 位)	16	フランス (同第 15 位)
7	フィンランド (同第 8 位)	17	中国 (同第 22 位)

## ランキング

経済圏	2017年 順位	2018年 順位	変更
スイス	1	1	-
オランダ	3	2	1
スウェーデン	2	3	(1)
イギリス	5	4	1
シンガポール	7	5	2
アメリカ合衆国	4	6	(2)
フィンランド	8	7	1
デンマーク	6	8	(2)
ドイツ	9	9	-
アイルランド	10	10	-
イスラエル	17	11	6
韓国	11	12	(1)
日本	14	13	1
香港(中国)	16	14	2
ルクセンブルク	12	15	(3)
フランス	15	16	(1)
中国	22	17	5
カナダ	18	18	-
ノルウェー	19	19	-
オーストラリア	23	20	3
オーストリア	20	21	(1)
ニュージーランド	21	22	(1)
アイスランド	13	23	(10)
エストニア	25	24	1
ベルギー	27	25	2
マルタ	26	26	-
チェコ共和国	24	27	(3)
スペイン	28	28	-
キプロス	30	29	1
スロベニア	32	30	2
イタリア	29	31	(2)
ポルトガル	31	32	(1)
ハンガリー	39	33	6
ラトビア	33	34	(1)
マレーシア	37	35	2
スロバキア	34	36	(2)
ブルガリア	36	37	(1)
アラブ首長国連邦	35	38	(3)
ポーランド	38	39	(1)
リトアニア	40	40	-
クロアチア	41	41	-
ギリシャ	44	42	2

経済圏	2017年 順位	2018年 順位	変更
ウクライナ	50	43	7
タイ	51	44	7
ベトナム	47	45	2
ロシア連邦	45	46	(1)
チリ	46	47	(1)
モルドバ共和国	54	48	6
ルーマニア	42	49	(7)
トルコ	43	50	(7)
カタール	49	51	(2)
モンテネグロ	48	52	(4)
モンゴル	52	53	(1)
コスタリカ	53	54	(1)
セルビア	62	55	7
メキシコ	58	56	2
インド	60	57	3
南アフリカ	57	58	(1)
ジョージア	68	59	9
クウェート	56	60	(4)
サウジアラビア	55	61	(6)
ウルグアイ	67	62	5
コロンビア	65	63	2
ブラジル	69	64	5
イラン・イスラム共和国	75	65	10
チュニジア	74	66	8
ブルネイ・ダルサラーム国	71	67	4
アルメニア	59	68	(9)
オマーン	77	69	8
パナマ	63	70	(7)
ペルー	70	71	(1)
バーレーン	66	72	(6)
フィリピン	73	73	-
カザフスタン	78	74	4
モーリシャス	64	75	(11)
モロッコ	72	76	(4)
ボスニア・ヘルツェゴビナ	86	77	9
ケニア	80	78	2
ヨルダン	83	79	4
アルゼンチン	76	80	(4)
ジャマイカ	84	81	3
アゼルバイジャン	82	82	-
アルバニア	93	83	10
TFYR マケドニア	61	84	(23)
インドネシア	87	85	2
ベラルーシ	88	86	2

経済圏	2017年 順位	2018年 順位	変更
ドミニカ共和国	79	87	(8)
スリランカ	90	88	2
パラグアイ	85	89	(4)
レバノン	81	90	(9)
ボツワナ	89	91	(2)
タンザニア連合共和国	96	92	4
ナミビア	97	93	4
キルギス	95	94	1
エジプト	105	95	10
トリニダード・トバゴ	91	96	(5)
エクアドル	92	97	(5)
カンボジア	101	98	3
ルワンダ	99	99	-
セネガル	100	100	-
タジキスタン	94	101	(7)
グアテマラ	98	102	(4)
ウガンダ	102	103	(1)
エルサルバドル	103	104	(1)
ホンジュラス	104	105	(1)
マダガスカル	111	106	5
ガーナ	n/a	107	n/a
ネパール	109	108	1
パキスタン	113	109	4
アルジェリア	108	110	(2)
カメルーン	117	111	6
マリ	118	112	6
ジンバブエ	121	113	8
マラウイ	115	114	1
モザンビーク	107	115	(8)
バングラデシュ	114	116	(2)
ボリビア多民族国	106	117	(11)
ナイジェリア	119	118	1
ギニア	126	119	7
ザンビア	124	120	4
ベニン	116	121	(5)
ニジェール	123	122	1
コートジボワール	112	123	(11)
ブルキナファソ	120	124	(4)
トーゴ	125	125	-
イエメン	127	126	1

8	デンマーク (同第 6 位)	18	カナダ (同第 18 位)
9	ドイツ(同第 9 位)	19	ノルウェー(同第 19 位)
10	アイルランド (同第 10 位)	20	オーストラリア (同第 23 位)

### イノベーションアチーバーの増加

低所得経済圏グループは、予想されていた発展レベルよりもはるかに良い成績を技術革新の分野で上げています。2017 年よりも 3 つ多い 20 の経済圏がこれら 2018 年「イノベーションアチーバー」を構成しています。サハラ以南のアフリカ地域には、ケニア、ルワンダ、南アフリカを含む 6 つのイノベーションアチーバーが揃う一方で、5 つの経済圏は東欧にあります。

インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナムは引き続きランキングを上げ、中国、日本、シンガポール、韓国のような地域の大国を追い上げています。

「数々の新興経済圏が技術革新情勢の真の大立者として徐々に存在感を増しています。」と、コーネル大学前学長 スミトラ・ドウッタ教授は述べています。「すでに上位 25 位以内に入る中国を除いて、中所得経済圏で上位グループに最も近いのはマレーシアです。他の興味深いケースとしては、インド、イラン、メキシコ、タイ、ベトナムがあげられ、これらの経済圏は継続的にランキングを上げています。」

### GII の新規知見および更新事項

その他、今年の注目すべき GII は以下の通りです：

- 世界的な「トップ科学技術クラスター」の最新調査には、特に革新的な活動を重視している分野を強調するため、国際特許出願に対し科学関連の出版物を追加。東京-横浜、深セン-香港周辺の地域がランキングを先導する一方、アメリカが 26 で最大数のホットスポットを誇っている。
- 最新の「IPC Green Inventory」では 2012 年にピークだったグリーン特許発行率と共に、環境に優しいエネルギー分野の特許に関して憂慮すべき増加率の減少傾向を示している。
- 教育、研究開発費への投資を効果的に高品質な技術革新の成果に転換している経済圏に対する幅広い洞察。リーダーは、スイス、ルクセンブルク、中国、オランダ、ウクライナ、モルドバ共和国、マルタ、ハンガリー、ドイツおよびスウェーデン。
- 新しい指標、モバイルアプリケーション「アプリ」の開発に関しては、キプロス、フィンランド、リトアニアがモバイルアプリ関連の GDP において世界的なリーダーである。

### GII 2018 テーマ：「技術革新で世界を活性化する」

GII2018 年版のテーマは「技術革新で世界を活性化する」です。世界中でエネルギー需要が増加する中、気候に優しいグリーンテクノロジー分野における幅広い革新的な取り組みの必要性を検討していきます。世界は 2040 年までに今日必要とされているエネルギーの 30% も多くのエネルギーを必要とし、エネルギー供給を拡大する対策は天候変動という観点においては非持続的だと予測されています。

「エネルギーまたは環境の均衡を実現するために技術革新が必要なのは明らかです。しかし、そのような技術革新は技術的なだけではいけないと心に留めておく必要があります。スマートシティ、カーシェアリングによるモビリティソリューション、そして、多様なエネルギー政策の影響に関してより良い情報を持った世界市民を作り上げる懸命な取り組みを含めた新しい社会的、経済的、商業的モデルが必要とされています。」と、INSEAD Global Indcies エグゼクティブ・ディレクターのブルーノ・ランバン氏は述べています。「最終的に、エネルギー課題に対する解決策が現地の需要と合致し、追加的な混乱を引き起こさず、格差を削減するようにしなければなりません。」

クリーンエネルギーの技術革新分野における GII の知見：新しい技術的な進歩が全体的なエネルギーのバリューチェーンに必要とされており、公共政策がよりクリーンなエネルギーへの転換を導くための主要な役割を担うこととなります。

GII ナリッジパートナーの一員である PwC 戦略コンサルティング事業部、Strategy&のバリー・ジュールゼルスキー主席は以下のように述べています。「エネルギー分野において、技術革新は企業戦略に必要不可欠です。エネルギー産業のリーダーたちは、彼らが直面している環境の変化、新しい種類のエネルギーおよび流通技術を使用して、いかに首尾よく企業を革新できるかが、企業が転換を生き残るための鍵となることを認識しています。市場は今後何十年も発展し続けます。本調査が示す通り、再生可能なエネルギーはより重要性を増し、電力産業は技術革新で大儲けできるかもしれません。」

## 地域のリノベーションリーダー

地域 / 順位	国	GII 2018 年世界ランク
<b>北米</b>		
1	アメリカ合衆国	6
2	カナダ	18
<b>サハラ以南のアフリカ</b>		
1	南アフリカ	58
2	モーリシャス	75
3	ケニア	78
<b>中南米、カリブ海</b>		
1	チリ	47
2	コスタリカ	54
3	メキシコ	56
<b>中央・南アジア</b>		
1	インド	57
2	イラン・イスラム共和国	65
3	カザフスタン	74
<b>北アフリカ、西アジア</b>		
1	イスラエル	11

2	キプロス	29
3	アラブ首長国連邦	38

#### 東南アジア、東アジア、オセアニア

1	シンガポール	5
2	韓国	12
3	日本	13

#### ヨーロッパ

1	スイス	1
2	オランダ	2
3	スウェーデン	3

### 北米

北米には今年の GII で上位 20 位にランクインした 2 つの経済圏があります。

**アメリカ**は今年、2017 年から 2 位後退して、全体で第 6 位にランクインしました。モデルの変更に部分的に関連した変化です。アメリカは研究開発への投資を含め、重要な技術革新のインプットおよびアウトプットに関する最大の貢献者であることは絶対的です。そして、研究者、特許、科学技術関連の出版物の数では中国に続き第 2 位です。アメリカはマサチューセッツ工科大学 (MIT)、スタンフォード大学、ハーバード大学の最高得点により、3 年続けて大学の質でイギリスをしのいでいます。

**カナダ**は、起業およびベンチャーキャピタル取引の容易さを強みとし、全体で第 18 位を維持しています。

### ヨーロッパ

上位 3 位のスイス (第 1 位)、オランダ (第 2 位)、スウェーデン (第 3 位) を含めた上位 20 位のうち 11 つの革新的な経済圏がヨーロッパにあります。

**スイス**は 8 年連続で GII の第 1 位に選ばれました。様々な特許および IP 関連の指標で第 1 位となり、また、ハイテクおよびミディアムハイテク製造業生産で第 2 位となりました。研究開発費および国内の大学の品質に関しても世界有数のリーダーです。

**オランダ**は世界ベストイノベーションランキングで第 2 位となりました。オランダには大学との協働に成功している、密接に連結した企業部門があります。その企業部門は IP 認可の輸出を通じて国際化されています。

**スウェーデン**は、世界のベストランキングで第 3 位です。WIPO の特許協力条約 (PTP: Patent Cooperation Treaty) を通じて出願した国別の特許出願で第 1 位を維持しています。オンラインクリエイティビティに関しても高い成績を上げています。

## 東南アジア、東アジア、オセアニア

今年、東南アジア、東アジア、オセアニア地域の全経済圏が GII の上位 100 位にランクインしました。この地域では、シンガポール（第 5 位）、韓国（第 12 位）、日本（第 13 位）が最高位にあります。

シンガポールは以下の指標で第 1 位の座を維持しました。：政府の有効性、規制品質、海外直接投資の流出。シンガポールは政治の安定性および安全性、市場資本、海外直接投資の流入、ハイテクおよびメディアムハイテク製造およびハイテク純輸出でもトップパフォーマーでした。

日本は数々の指標で第 1 位にランクしました。：企業が支援する研究開発費に対する国内支出総額、2 つ以上のオフィスによる特許ファミリー、知的所有権の受領。

韓国は、国別の特許出願および研究開発の取り組みを測定する様々な指標（研究開発に対する国内支出総額、企業が支援および実施している研究開発、企業における研究者分野の人材）のランキングでトップを維持しています。また、国別の産業デザイン、ハイテク純輸出においても第 1 位を維持しています。新しく導入された指標、モバイルアプリの開発でも第 8 位にランクしました。

## 中央・南アジア

中央・南アジア地域では、GII2017 年の第 60 位から今年の第 57 位まで、3 つ順位を上げたインドがトップの座を維持しています。イラン・イスラム共和国は地域で第 2 位を維持し、カザフスタンは第 3 位となりました。

低所得経済圏の中で、インドは GII ランキングで 5 つ順位を上げました。インドはまた 8 年連続で、一人当たりの国内総生産に関する技術革新で格段に優れていました。インドはいくつかの重要な指標で好成績を上げました。：生産性の向上、情報およびコミュニケーション技術およびサービスの輸出。

「その規模および技術革新開発を考慮すると、インドは今後、世界的な技術革新の情勢に大きな変化をもたらす可能性があります。インド政府および CII は、インドの技術革新のパフォーマンスをさらに向上するため、GII チームと密接に協力します。」と、GII ナリッジパートナーの一員であるチャンドラジット・バナジーインド工業連盟会長は述べました。

イラン・イスラム共和国は今年、以下の指標で第 1 位になりました。：生産性の向上および理工学部の卒業生。その他比較的高成績だった分野には、資本投資特許、科学技術関連の出版物、商標および技術的製造業が含まれます。

カザフスタンは今年、第 3 位を維持し、以下の指標で比較的顕著なパフォーマンスを示しました。：生徒に対する教師の割合、総資本形成、海外直接投資の流入。



## 北アフリカ、西アジア

イスラエル（第 11 位）およびキプロス（第 29 位）は 6 年連続で地域の上位 2 位を獲得しました。アラブ首長国連邦は第 3 位です。

イスラエルは以下の指標でトップでした。：研究者の数、研究開発の支出、ベンチャーキャピタル取引、企業が支援している研究開発、企業における研究分野の人材、情報およびコミュニケーション技術サービスの輸出、Wikipedia の編集。

キプロスは、クレジットアクセス、知識の普及、オンラインクリエイティビティの分野で優れていました。その他優秀だった分野は以下の通りです。：海外直接投資の流入および流出、情報および技術サービスの輸出入。キプロスはモバイルアプリの開発でも世界一です。

アラブ首長国連邦は、大学生・専門学校の留学生の数、クラスター開発、企業が支援している研究開発、研究分野の人材、教育、一般的なインフラ、技術革新の連携。

## 中南米、カリブ海

チリは今年、GII で第 47 位となり、地域でトップにランクしました。特に、規制品質、大学・職業専門学校への入学、クレジットへのアクセス、企業が提供する公式訓練、新規事業の創設、海外直接投資の流入および流出で高い成績を上げました。

コスタリカは地域で第 2 位でした。教育への支出、クレジットへのアクセス、労働者一人当たりの生産高、知的所有権の支払い、情報およびコミュニケーションサービスの輸出、製造業全体における割合としての印刷業およびその他のメディア業で優れていました。

地域で第 3 位のメキシコは、クレジット取得の容易さ、技術的製造業、技術的純輸出入、創造的製品の輸出で上位 10 位に入りました。

地域最大の経済圏を誇るブラジルは、今年の GII で第 64 位にランクインしました。比較的高成績だったエリアは以下の通りです。：研究開発の支出、ハイテク純輸出入、科学出版物および大学の質、特にサンパウロ大学、カンピーナス大学、リオデジャネイロ連邦大学。

「改良する機会および私たちの強みを指摘するグローバル・イノベーション・インデックスはブラジルの技術革新政策を設定し、またそれを完成させるために非常に重要です。また、これは新しい政策の定義に必要な不可欠な道具でもあります。次回の新しい産業革命と共に、技術革新は国家の開発および競争力に新しい比重を占めることになるでしょう。ブラジルはその道を前進するべきです。」と、CNI のロブソン・アンドラーデ会長は述べました。「小企業は私たちの国家の経済的および社会的な勢力基盤です。革新は、ブラジル経済により多くの競争力を模索するための戦略です。」と、Serbrae のヘロイザー・メネゼス会長兼技術ディレクターは述べています。CNI および Serbrae もまた GII ナレッジパートナーです。

## サハラ以南のアフリカ

南アフリカが地域の全経済圏の中でトップとなり、それにモーリシャス、ケニアが続きます。

いくつかの GII 版で、数々のサハラ以南のアフリカ経済圏は、経済開発のレベルに対するパフォーマンスと比較すると、技術革新に関しては比較的好成績を収めてきました。

南アフリカは今年、第 58 位でした。これは南アフリカの洗練された市場および企業部門の強みを示しています。その他好成績だった指標は以下の通りです。：クレジットへのアクセス、市場資本、大学および産業による共同研究、クラスター開発および知的所有権の支払い。

南アフリカは、特にケープタウン大学、ウィットウォーターズ大学、ステレンボッシュ大学により科学関連のレポートおよび大学の質を向上しています。

モーリシャスはその安定した政治、ビジネス、クレジット環境から地域で第 2 位になりました。その他の強みは以下の通りです。：政治の安定性および安全性、中学生への政府支援、エネルギー使用および取引の効率性。

ケニアは、2011 年より続いてきたそのパフォーマンスにより、開発レベルに対して高いレベルの技術革新を達成しています。ケニアの強みは、クレジットへのアクセス（特にマイクロファイナンスのローン）、技術革新の連結、外国が支援する研究開発などの創造的なサービスの輸出、労働力の効率性、印刷業およびその他のメディア業です。

## グローバル・イノベーション・インデックスについて

今年で第 11 版となる **Global Innovation Index 2018** (GII) はコーネル大学、INSEAD、世界知的所有権機構 (WIPO は国連の専門機関) によって共同発表されています。

GII は 2007 年以降毎年発表されており、世界中の企業幹部、政策立案者、そして世界中の技術革新の情勢に関する洞察を探求している人々が参考にする主要評価指標の 1 つとなっています。政策立案者、ビジネスリーダー、その他のステークホルダーは、国の進歩を継続的に評価する際に **GII** を参考にしています。本年度の調査は、インド産業連合 (Confederation of Indian Industry)、PwC の Strategy&、ブラジル全国工業連盟 (National Confederation of Industry – CNI)、ブラジル零細・小企業支援サービス公社 (Brazilian Micro and Small Business Support Service – Sebrae) がナレッジパートナーズとして共同参画し、国際的な有識者諮問委員会の協力を得て実施されました。

GII 報告書の中心となるのは、世界経済の技術革新能力とこれによる成果です。GII は、経済発展と繁栄のための推進力としての技術革新の役割と、先進国と新興国の両経済に適用できる技術革新の広範なビジョンの必要性を認識しており、研究開発のような従来型技術革新評価基準を超えた指標を含んでいます。

世界規模での技術革新に関する議論をサポートし、適切な政策立案のための指針を提供し、優れた実例を紹介するため、技術革新と関連政策の有効性を査定できる評価基準が不可欠です。GII は、下記の項目を含め、技術革新要因が継続的に評価できる環境を提供しています。:

- データ、ランキング、強みと弱点などの情報を含めた 126 カ国/経済圏のプロファイル
- 30 種類以上の世界中の公的および私的情報源の指標で使用される 80 種類のデータテーブル (内訳は、57 種類のハードデータ、18 種類の複合指標、5 種類のアンケート調査結果)
- 各指標ランクに対する 90% の信頼区間など、透明性が高く再現可能な計算方法 (GII およびアウトプット/インプットのサブインデックス) と、前年からのランク変動要因分析

GII 2018 は、2 つのサブインデックスの平均として計算されます。技術革新インプットのサブインデックスは、次の 5 つの柱に分類される技術革新活動を行う国家経済要素を評価します: (1) 公的機関、(2) 人材と研究能力、(3) インフラストラクチャ、(4) 市場の高度化、(5) ビジネスの高度化。技術革新アウトプットのサブインデックスは、次の 2 つの柱で構成される、技術革新の目に見える成果を評価します: (6) 知識と技術のアウトプット、(7) 創造的なアウトプット。本指標は Joint Research Centre of the European Commission によって、独立系統計監査機関に提出されます。報告書全文はこちらのサイトからダウンロードできます: [www.globalinnovationindex.org](http://www.globalinnovationindex.org)

## コーネル大学について

コーネル大学は研究で優れた成果を出している私立大学であり、ニューヨーク州立大学と提携しています。ニューヨーク州から公有地を提供されており、ニューヨーク州、米国、そして世界全体の生活水準向上をサポートするという公共福祉を最優先事項として掲げ、あらゆる知識分野に貢献するというアイビー・リーグ独自の責任があります。コーネル大学は、他組織や他分野と連携し、より柔軟で、これからのビジネスを反映した、新しいビジネス教育モデルを構築しています。コーネル大学の Cornell SC Johnson College of Business は、Charles H. Dyson School of Applied Economics and Management、School of Hotel Administration、Samuel Curtis Johnson Graduate School of Management という高い評価を得ているビジネススクール 3 校の強みを統合させ、学生 1 人ひとりがコーネル大学のこのような統合ビジネス教育によるメリットを享受して、より多くの学位を取得することができるだけでなく、幅広い講師陣や資源、専門知識から幅広く学べるようにしています。実社会の課題を解決する場合でも、特定業界に対する知識を深める場合でも、Cornell SC Johnson College of Business は、他にはない有意義かつ永続的なメリットを提供しています。

## INSEAD について、世界に展開するビジネススクール

世界有数かつ最大規模のビジネススクールである INSEAD は、生徒に真の国際教育体験を提供しています。欧州（フランス）、アジア（シンガポール）、中東（アブダビ）にキャンパスを構えた INSEAD のビジネスプログラムと研究は、3 大陸にまたがり展開されています。約 40 カ国から著名な 145 名の教授を迎え、毎年 1,400 名を超える学生に修士および博士の各プログラムを提供しています。さらに、毎年 11,000 名以上のエグゼクティブが INSEAD のエグゼクティブ教育プログラムに参加しています。INSEAD の詳細については以下のサイトをご覧ください。 [www.insead.edu](http://www.insead.edu)

## WIPO について

世界知的所有権機構(WIPO)は、知的所有権政策、サービス、情報、協力のために設立された国際機関です。国連の専門機関である WIPO は、進化し続ける社会のニーズを満たすため、バランスの取れた in 国際的知的所有権の枠組みを加盟国 191 カ国が構築できるように支援しています。また、複数の国で知的財産権の保護権利を取得したり、紛争解決したりするためのビジネスサービスも提供しています。さらに、新興国が知的所有権の使用からメリットを享受できるよう 能力強化プログラムを提供したり、WIPO が独自に開発した 知的所有権情報のナレッジバンクを無償で利用できるようにしたりしています。

。

## ナレッジパートナーズ

2018年度は、インド産業連合（Confederation of Indian Industry）、PwCのStrategy&、ブラジル全国工業連盟（National Confederation of Industry – CNI）、ブラジル零細・小企業支援サービス公社（Brazilian Micro and Small Business Support Service – Sebrae）がナレッジパートナーズとして共同参画しました。

ナレッジパートナーズは国家の競争力の向上、経済発展の実現、社会変化の推進、国家の未来の基盤作りに技術革新が果たす役割を高く評価しています。

ナレッジパートナーズは、有益で隔たりのない知識源を提供することに尽力しています。また、ナレッジパートナーズは分析を助け、あるいはGII報告書に掲載できる実例を提供し、またはGII調査結果にフィードバックを提供し、その普及に携わることで、GIIに貢献しています。

### CIIについて

インド産業連合(CII)は、諮問・コンサルティング機関として産業や政府と連携し、インド国内産業の発展を促進する環境作りや維持に尽力しています。CIIは産業が運営管理を行う非政府・非営利組織で、インドの発展に重要な役割を担っています。1895年の創立以来、インドを代表する産業団体として、SMEやMNCなどの官民部門から9000組織が正会員として加盟し、世界約265の国と地域の幅広い産業から30万社以上の企業が準会員として加盟しています。

### Strategy&について

Strategy&は、クライアントが競争的優位を確保する手助けをし、実践的な戦略策定を行うグローバルなチームです。クライアントと共に困難な問題を解決し、大きな機会を実現する手伝いをしています。100年に渡る戦略コンサルティングの経験と、PwCネットワークの持つ比類のない業種別、機能別のケイパビリティを提供します。Strategy&は、世界158カ国に236,000人以上のスタッフを擁し、監査、税務、アドバイザーの各種サービスを提供するPwCネットワークの一員です。

### CNI-Sebraeについて

ブラジル全国工業連盟（Confederação Nacional da Indústria – CNI）は、ブラジル国内の工業を代表する最上位組織です。1938年の設立以来、CNIは国内ビジネスと製造業の利益擁護に取り組み、政府の行政、立法、司法の各機関やブラジル内外の各種機関や組織と交渉を行っています。ブラジルを構成する27州の地方工業連盟と約70万社が加盟している1,250の業界団体を統括しています。さらに、CNIは、工業社会サービス（Serviço Social da Indústria – SESI）、全国工業職業訓練機関（Serviço Nacional de Aprendizagem Industrial – SENAI）、エウヴァウド・ロヂ研究所（Instituto Euvaldo Lodi – IEL）を直接的に管轄しています。

ブラジル零細・小企業支援サービス公社 (Brazilian Micro and Small Business Support Service – Sebrae) は、小企業の持続可能性と競争力開発を促進するための非営利の民間組織です。その経験により、ブラジル国内の小企業の開発の専門組織となっています。Sebrae は、起業家を育成し、小企業が成長してより多くの雇用を創出できるよう支援し、ブラジル経済の発展を支えています。また、国内 700 箇所に現地サービスセンターで構成されるネットワークを構築しています。5,000 名を超える小企業専門家を擁し、多数の外部コンサルタントと連携し、会社経営者または起業を計画している人々に知識とノウハウを伝えています。



Cornell  
SC Johnson College of Business

INSEAD  
The Business School  
for the World®



## プレス関連のお問合せ先

### Cornell University

Sarah Magnus-Sharpe

[sm2374@cornell.edu](mailto:sm2374@cornell.edu)

+1-607-254-7109

### INSEAD Europe

Sophie Badre

[sophie.badre@insead.edu](mailto:sophie.badre@insead.edu)

+33 1 60 72 4526 or

+33 6 86 07 33 75

### WIPO

Samar Shamoon

Edward Harris

[samar.shamoon@wipo.int](mailto:samar.shamoon@wipo.int)

[edward.harris@wipo.int](mailto:edward.harris@wipo.int)

+41 22 338 8161

+41 22 338 7224



Confederation of Indian Industry

strategy&  
Part of the PwC network



National Confederation of Industry  
Brazil  
CNI. THE STRENGTH OF THE BRAZILIAN INDUSTRY